

2-33-5 真珠庵庭園

真珠庵は、大徳寺の塔頭で、一休禅師を開祖として、延徳3年（1491）堺の尾和宗臨によって、開創された。庭園（史跡・名勝）には、①方丈の東庭・南庭、②通僊院庭園があり、①の東庭は室町時代の作と伝え、石組の配列から「七五三」の庭と呼ばれている。②の通僊院に付属して茶室庭玉軒（国重文）があり、その露路は宗和の作庭とされ、茶庭の趣がある。

リーフレットより